

2020年度 第2四半期決算 説明資料

2020年10月29日

四国電力株式会社

目次

連結決算のポイント

1

I. 2020年度 第2四半期 連結決算の概要

➤ 収支概要	2
➤ 販売電力量	3
➤ 発電電力量	5
➤ 収支明細	6
➤ セグメント情報	9
➤ キャッシュ・フロー	10
➤ 財政状態	11
➤ 利益配分（配当）	13

II. 2020年度 連結業績予想および配当予想

14

2020年度 第2四半期決算 補足データ

➤電化住宅採用戸数の推移	15
➤化石燃料の消費実績	16
➤出水率、主要諸元の需給関連費への影響額等	17
➤燃料費調整制度による期ずれ影響	18
➤設備投資額（連結）	19
➤再生可能エネルギーの固定価格買取制度	21

連結決算のポイント

【2020年度 第2四半期決算】

- [売上高] 伊方発電所3号機の停止に伴う供給余力の減等により卸販売収入が減少したほか、販売量の減や燃料費調整額の減等により小売販売収入も減少したことなどから、前年同期に比べ222億円減収の3,510億円。
- [営業費用] 伊方発電所3号機は停止していたものの、総販売電力量の減や燃料価格の低下等により需給関連費が減少したほか、発電停止等により原子力バックエンド費用も減少したことなどから、前年同期に比べ78億円減少の3,318億円。
- [利益] 前年同期に比べ、営業利益は144億円減益の192億円、経常利益は149億円減益の175億円、また、親会社株主に帰属する純利益は、117億円減益の116億円。

【2020年度の連結業績予想および配当予想】

- 2020年度の連結業績予想は、これまで、伊方発電所3号機の運転再開時期を見通すことが難しいことなどから、未定としてきました。こうした中、当社が広島高等裁判所で係争中である同機の運転差止仮処分命令に係る異議審について、先日の進行協議により、来年3月に決定がなされる予定となったことから、これを前提とした収支の精査を行い、速やかにお知らせいたします。
- 2020年度の間配当は、配当予想どおり1株当たり15円。期末配当は、業績予想値の精査を行い、速やかにお知らせいたします。

I. 2020年度 第2四半期 連結決算の概要

収支概要 (収支の明細は6～7ページ参照)

(億円)

	2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差	伸び率
売上高	3,510	3,732	▲ 222	▲ 5.9%
営業費用	3,318	3,396	▲ 78	▲ 2.3%
営業利益	192	336	▲ 144	▲ 42.9%
支払利息ほか	16	12	4	38.9%
経常利益	175	324	▲ 149	▲ 45.9%
法人税ほか	58	91	▲ 33	▲ 35.9%
親会社株主に帰属する 純利益	116	233	▲ 117	▲ 49.8%

販売電力量①

(百万kWh)

	2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差	伸び率	主な差異理由
小売販売	10,873	11,077	▲ 204	▲ 1.8%	・新型コロナウイルス感染症によるマイナス影響など
電 灯	3,842	3,782	60	1.6%	
電 力	7,032	7,294	▲ 262	▲ 3.6%	
卸販売	2,509	4,501	▲ 1,992	▲ 44.3%	・伊方発電所3号機の停止に伴う供給余力の減など
総販売電力量	13,382	15,578	▲ 2,196	▲ 14.1%	

※ 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

四国4県都の平均気温

(℃)

	6月	7月	8月	9月	6-9月平均
実 績	24.2	25.7	29.9	25.2	26.3
平 年 差	1.4	▲ 1.1	2.1	0.7	0.8
前 年 差	1.0	▲ 0.4	1.9	▲ 1.1	0.4

販売電力量②

販売電力量の推移

	(百万kWh)				
	2016年度 第2四半期	17年度 第2四半期	18年度 第2四半期	19年度 第2四半期	20年度 第2四半期
電 灯	4,231	4,185	4,012	3,782	3,842
電 力	8,657	8,191	7,696	7,294	7,032
計	12,888	12,376	11,708	11,077	10,873

対前年伸び率

	2016年度 第2四半期	17年度 第2四半期	18年度 第2四半期	19年度 第2四半期	20年度 第2四半期
電 灯	2.4%	▲ 1.1%	▲ 4.2%	▲ 5.7%	1.6%
電 力	0.4%	▲ 5.4%	▲ 6.0%	▲ 5.2%	▲ 3.6%
計	1.0%	▲ 4.0%	▲ 5.4%	▲ 5.4%	▲ 1.8%

四国4県都の平均気温（夏季）

	(℃)				
	2016年度 第2四半期	17年度 第2四半期	18年度 第2四半期	19年度 第2四半期	20年度 第2四半期
夏季（6-9月平均）	26.4	26.0	26.3	25.9	26.3

(百万kWh)

		2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差	伸び率	備考
自 社	水 力	1,541	1,411	130	9.3%	・ 出水率 105.1% → 104.7%
	原 子 力	-	4,014	▲ 4,014	-	・ 原子力利用率 102.7% → 0%
	新 工 ネ	2	3	▲ 1	▲ 26.5%	
	火 力	5,328	5,226	102	2.0%	
他 社 受 電		7,711	6,168	1,543	25.0%	・ うち水力 752 → 799 ・ うち新工ネ 2,120 → 2,471

※決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

収支明細

(億円)

(差異理由：億円)

			2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差	伸び率
売上高	電気事業	小売販売収入	2,102	2,237	▲ 135	▲ 6.0%
		卸販売収入	180	367	▲ 187	▲ 50.9%
		その他収入	766	676	90	13.3%
		小計	3,049	3,282	▲ 233	▲ 7.1%
	その他事業		461	450	11	2.5%
合計		3,510	3,732	▲ 222	▲ 5.9%	
営業費用	電気事業	人件費	271	263	8	3.4%
		燃料費	240	349	▲ 109	▲ 31.1%
		購入電力料	1,119	1,038	81	7.9%
		減価償却費	242	244	▲ 2	▲ 0.9%
		修繕費	263	247	16	6.7%
		原子力バックエンド費用	13	93	▲ 80	▲ 85.2%
		その他費用	754	758	▲ 4	▲ 0.6%
		小計	2,906	2,994	▲ 88	▲ 2.9%
	その他事業		412	401	11	2.7%
合計		3,318	3,396	▲ 78	▲ 2.3%	
営業利益		192	336	▲ 144	▲ 42.9%	
	支払利息ほか		16	12	4	38.9%
経常	利益		175	324	▲ 149	▲ 45.9%
	法人税ほか		58	91	▲ 33	▲ 35.9%
親会社株主に帰属する純	利益		116	233	▲ 117	▲ 49.8%

【小売販売収入】

- ・販売電力量の減 (▲ 27)
- ・燃料費調整額の減 (▲114) 他

【その他収入】

- ・再エネ買取制度に基づく交付金の増 (+88) 他

【需給関連費（燃料費＋購入電力料）】 ▲27

- ・原子力の稼働減 (+160)
- ・小売販売電力量の減 (▲ 9)
- ・卸販売電力量の減 (▲ 91)
- ・水力の増 (▲ 8)
- ・新エネ購入電力量の増 (+ 71)
- ・火力単価の低下 (▲138) 他

		2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差
全日本 C I F	石炭 (\$/t)	78	109	▲ 31
	原油 (\$/b)	37	69	▲ 32
	LNG (\$/t)	388	499	▲ 111
為替レート (円/\$)		106	109	▲ 3

【修繕費】

- ・火力関係工事の増 (+22) 他

【原子力バックエンド費用】

- ・原子力稼働減に伴う再処理費および高レベル廃棄物処分費の減 (うちkWh連動分 ▲ 64)

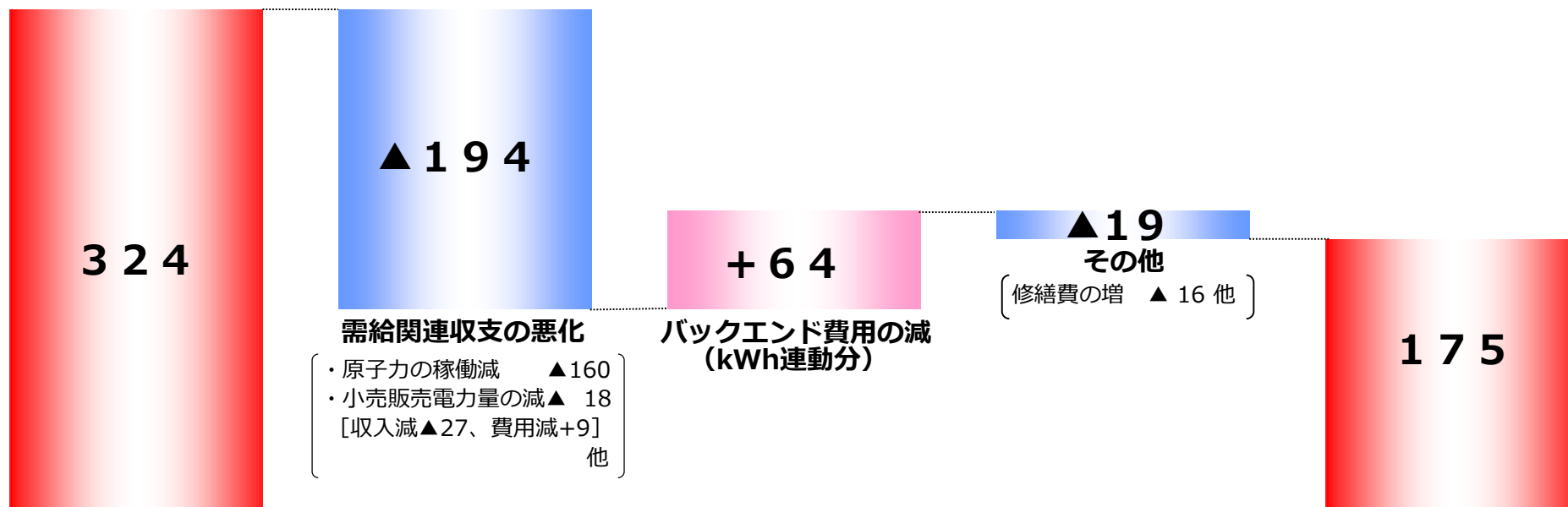
【経常利益(連結) 前年との差異内訳】

経常利益

2019年度
第2四半期

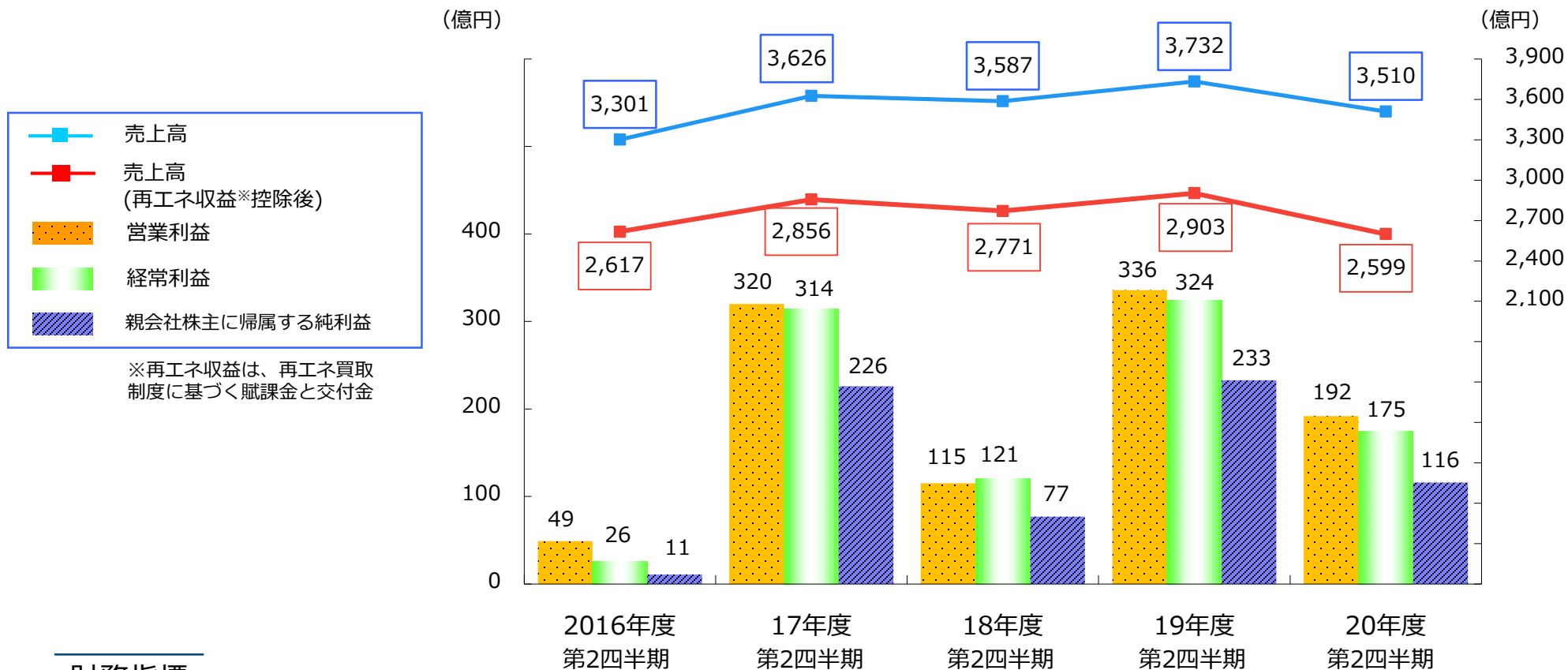
(単位：億円)

2020年度
第2四半期



【業績の推移】

8



財務指標

	2016年度 第2四半期	17年度 第2四半期	18年度 第2四半期	19年度 第2四半期	20年度 第2四半期
売上高営業利益率(%)	(1.9) 1.5	(11.2) 8.8	(4.2) 3.2	(11.6) 9.0	(7.4) 5.5
1株当たり純利益(円)	5	110	38	113	57
事業利益(経常利益 + 支払利息) (億円)	70	353	157	356	204

()内は、再エネ収益を控除した売上高を用いた場合

(億円)

			2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差	主な差異理由	
連 結			売上高 営業利益	3,510 192	3,732 336	▲ 222 ▲ 144	-
セ グ メ ン ト （ 内 部 取 引 消 去 前 ）	電気事業	発電・販売	売上高 営業利益	2,908 62	3,262 220	▲ 354 ▲ 158	卸販売電力量の減 他 需給関連収支の悪化 他
			送配電	売上高 営業利益	952 75	903 65	49 10
	情報通信事業			売上高 営業利益	216 34	208 35	8 ▲ 1
	建設・エンジニアリング事業		売上高 営業損失	230 ▲ 3	210 ▲ 2	20 ▲ 1	請負工事の受注増 他
	エネルギー事業		売上高 営業利益	96 13	118 9	▲ 22 4	LNG販売量の減 他 燃料価格の低下に伴うLNG購入費用の減 他
	その他事業		売上高 営業利益	225 5	229 5	▲ 4 0	

＜参考＞設備投資額

(億円)

	2020年度 第2四半期
電気事業（発電・販売）	208
（うち西条1号機リプレース）	(83)
（うち伊方発電所にかかる安全対策工事）	(60)
電気事業（送配電）	92
情報通信事業	17
建設・エンジニアリング事業、エネルギー事業、その他事業	18
合 計（未実現消去前）	337

(注)プラスは収入、▲は支出 (億円)

		2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差
営業 キャッシュ・フロー	経常利益	175	324	
	減価償却費	287	294	
	その他の	▲ 352	▲ 130	
	計	109	487	▲ 378
投資 キャッシュ・フロー	設備投資	▲ 358	▲ 397	
	融資	▲ 23	▲ 70	
	計	▲ 382	▲ 468	86
フリー・キャッシュ・フロー		▲ 272	19	▲ 291
財務 キャッシュ・フロー	配当金支払額	▲ 31	▲ 31	
	社債・借入金増減額	494	▲ 27	
	自己株式取得額	▲ 0	▲ 2	
	計	463	▲ 60	
手元資金の増減額		190	▲ 43	

<参考>

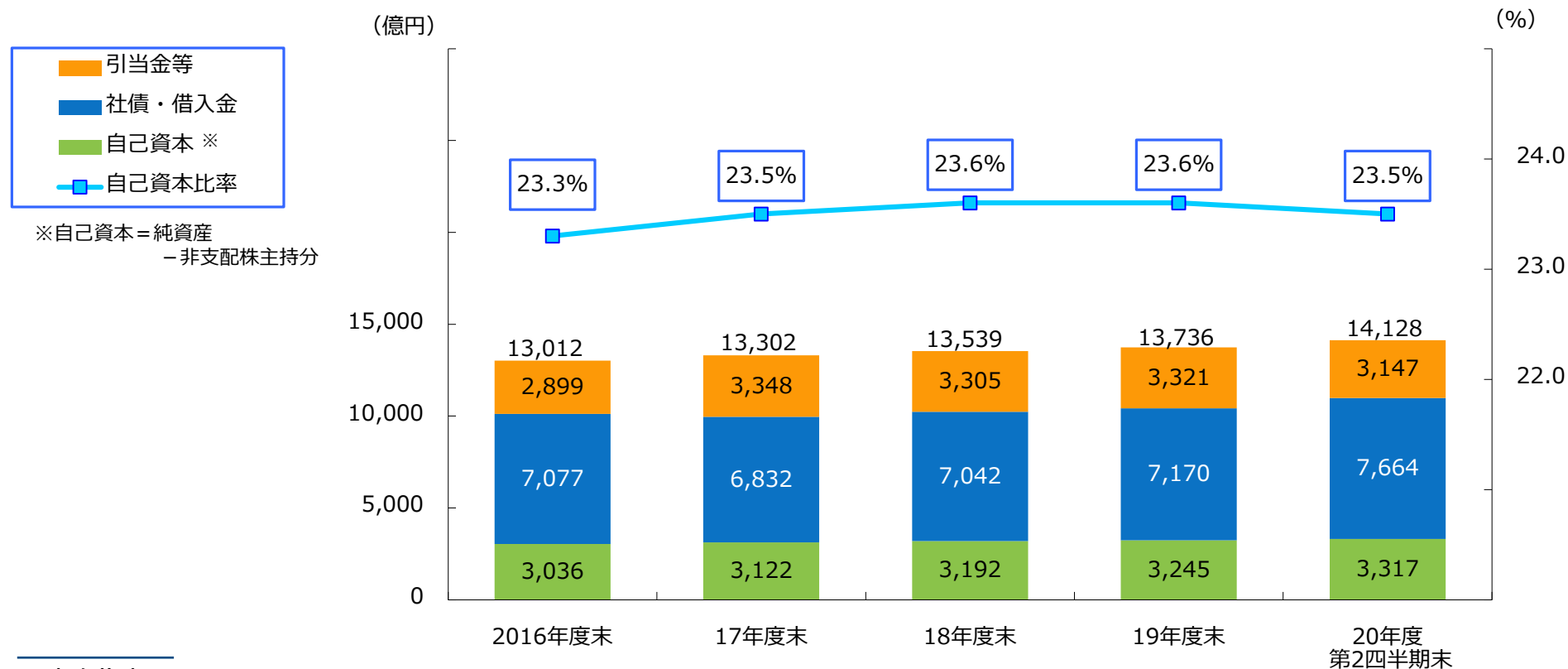
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	69.7	14.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.8	14.7

※キャッシュ・フロー対有利子負債倍率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー÷利払い

(億円)

	2020年度 第2四半期末	2019年度末	増 減	主な増減理由
資 産	14,128	13,736	392	
(事 業 用 資 産)	(8,438)	(8,430)	(8)	・設備投資 +319 ・減価償却 ▲287 他
(投 資 等)	(4,551)	(4,181)	(370)	・手元資金の増 +190 ・売掛金の増 +116 ・海外事業等への出資・融資 + 49 他
負 債	10,789	10,469	320	
(社 債 ・ 借 入 金)	(7,664)	(7,170)	(494)	・社債の増 +325 ・長期借入金の増 +169
(未 払 費 用 等)	(3,124)	(3,299)	(▲ 175)	未払費用・買掛金の減 ▲170 他
純 資 産	3,339	3,266	73	
(利 益 剰 余 金)	(1,907)	(1,821)	(86)	・親会社株主に帰属する純利益 +116 ・配当金の支払い ▲ 31

自己資本比率	23.5%	23.6%	▲ 0.1%
--------	-------	-------	--------



財務指標

	2016年度末	17年度末	18年度末	19年度末	20年度 第2四半期末
自己資本比率 (%)	23.3	23.5	23.6	23.6	23.5
有利子負債倍率 ※ (倍)	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3
1株当たり純資産 (円)	1,474	1,517	1,550	1,578	1,613
株価純資産倍率 (倍)	0.8	0.8	0.9	0.5	0.5

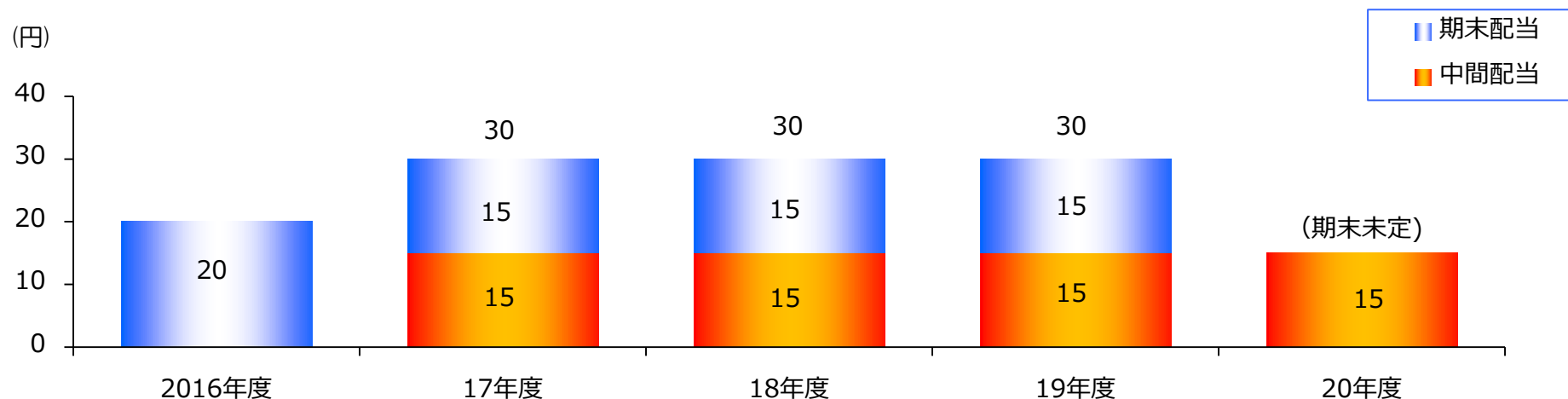
※ 有利子負債倍率＝社債・借入金÷自己資本

- 当社は、安定的な配当の実施を株主還元の基本とし、業績水準や財務状況、中長期的な事業環境などを総合的に勘案して判断することとしています。
- 2020年度は、中間配当について、配当予想どおり1株当たり15円を実施いたします。

1株当たり配当金

	2019年度	2020年度
中間配当	15円	15円
期末配当	15円	未定
合計	30円	未定

1株当たり配当金の推移

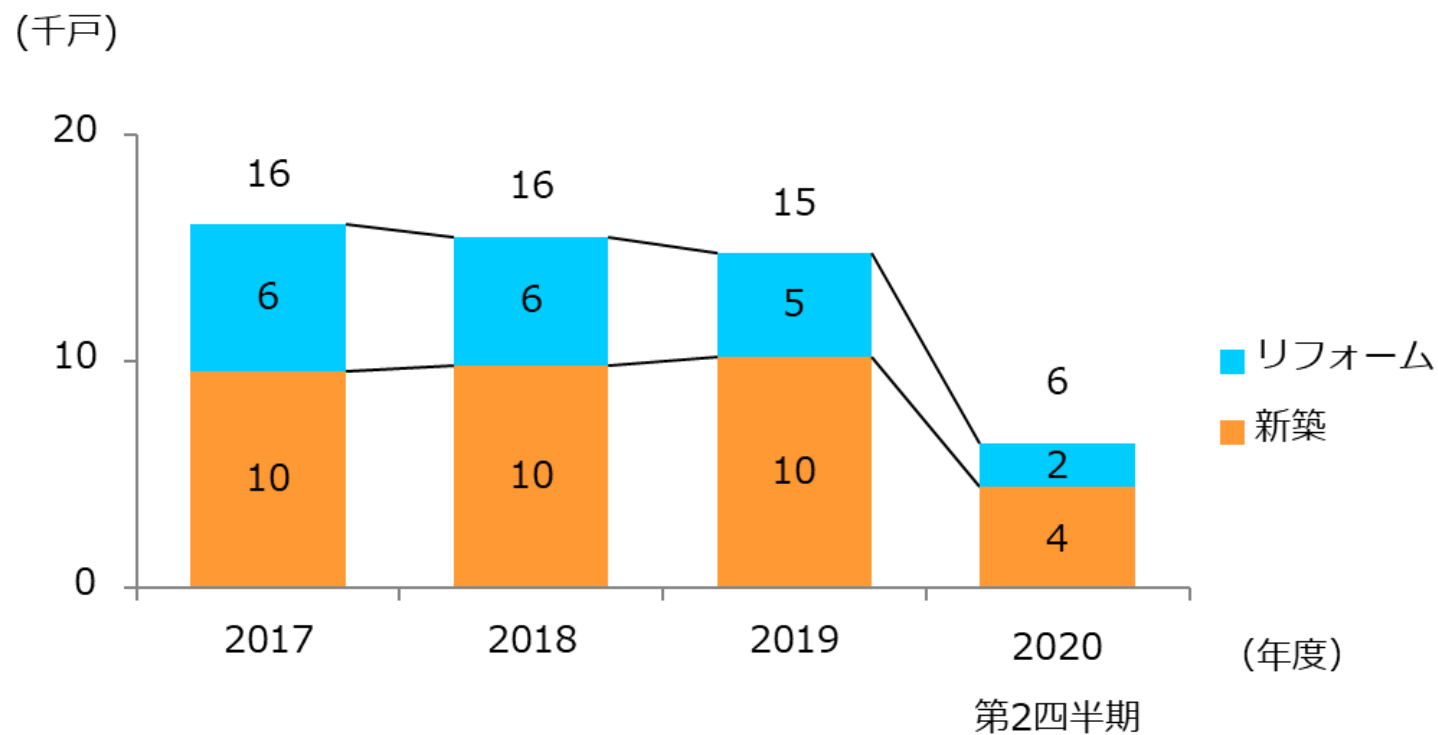


Ⅱ．2020年度 連結業績予想および配当予想

- 2020年度の連結業績予想および期末配当予想は、これまで、伊方発電所3号機の運転再開時期を見通すことが難しいことなどから、未定としてきました。こうした中、当社が広島高等裁判所で係争中である同機の運転差止仮処分命令に係る異議審について、先日の進行協議により、来年3月に決定がなされる予定となったことから、これを前提とした収支の精査を行い、速やかにお知らせいたします。

2020年度 第2四半期決算 補足データ

- 電化住宅採用戸数の推移
- 化石燃料の消費実績
- 出水率、主要諸元の需給関連費への影響額等
- 燃料費調整制度による期ずれ影響
- 設備投資額（連結）
- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度

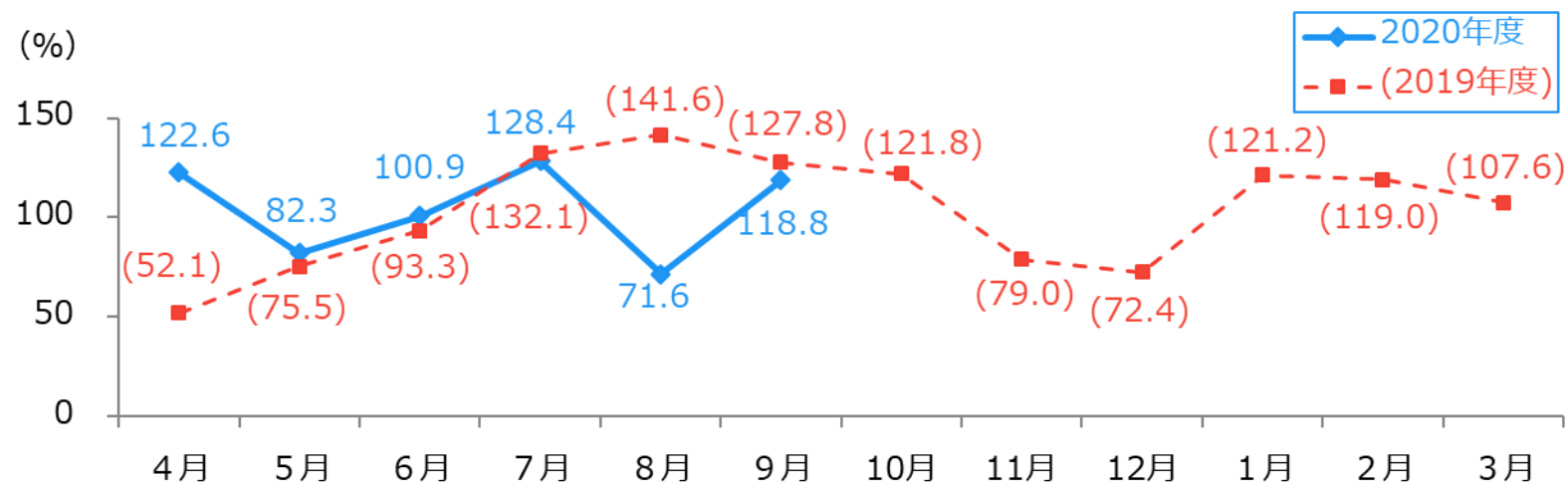


	2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差
石 炭 (万t)	120.2	122.9	▲ 2.7
重 油 (万kl)	2.3	2.8	▲ 0.5
原 油 (万kl)	0.7	1.3	▲ 0.6
L N G (万t)	18.6	12.0	6.6

[燃料諸元]

	2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年差
石炭通関CIF (\$/ t)	78	109	▲ 31
原油通関CIF (\$/ b)	37	69	▲ 32
LNG通関CIF (\$/ t)	388	499	▲ 111
為替レート (円/\$)	106	109	▲ 3

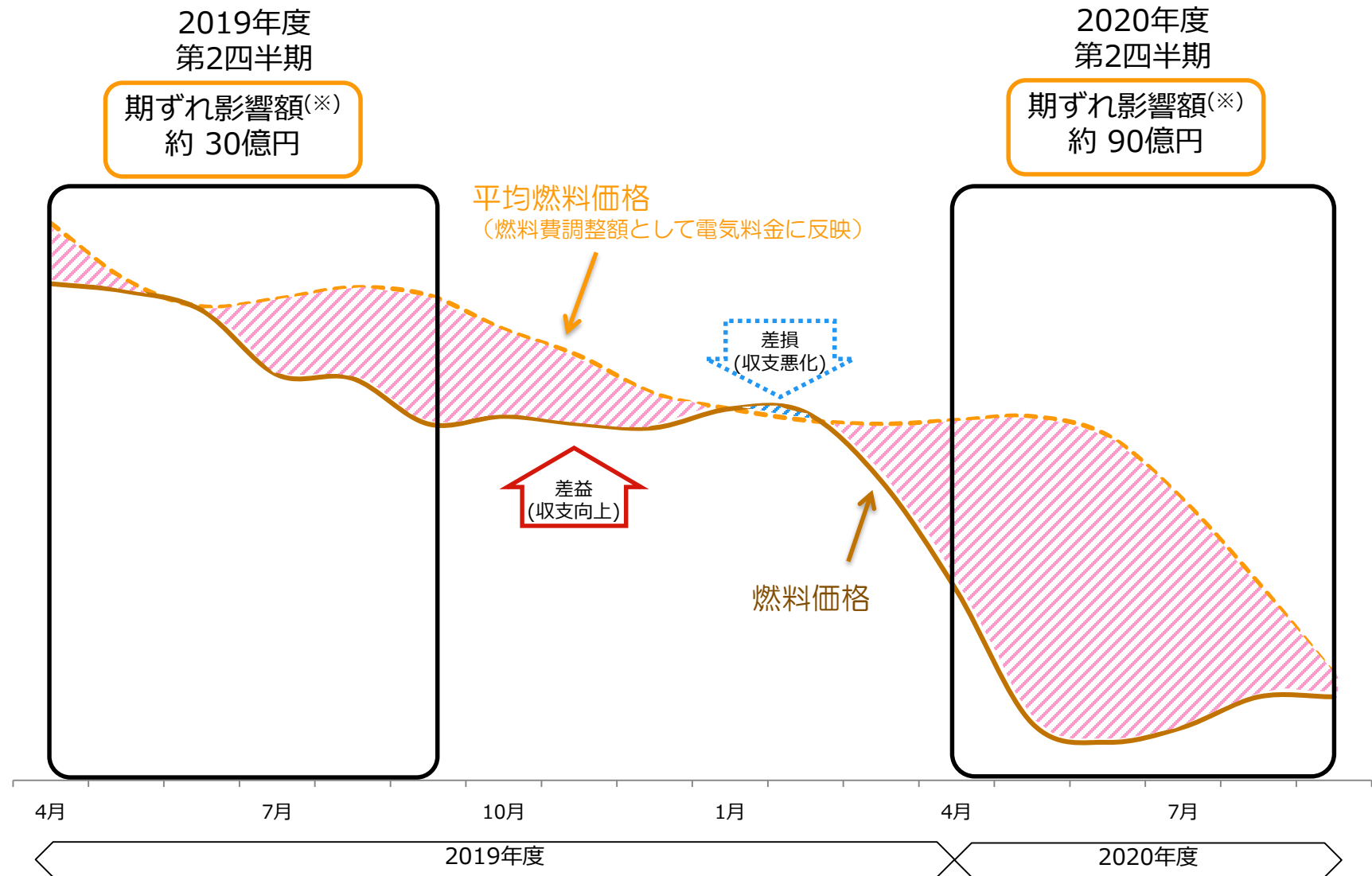
出水率の推移



主要諸元の需給関連費への影響額等

(億円)

	2020年度 第2四半期
石炭CIF(1\$/t)	3
原油CIF(1\$/b)	0.4
為替レート(1円/\$)	3
原子力利用率(1%)	2
出水率(1%)	1



(※) 燃調期ずれ影響額は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額の差額。

（億円）

	2020年度 第2四半期	（参考） 2019年度
発電・販売事業	208	576
うち 再エネ	4	50
うち 火力	105	253
うち 原子力	83	190
うち 原子燃料	13	75
送配電事業	92	197
うち 送電	19	53
うち 変電	25	53
うち 配電	41	77
電気事業計	300	773
その他の事業	36	119
設備投資額※	337	893

※未実現利益消去前

【伊方発電所の安全対策費の見通し】

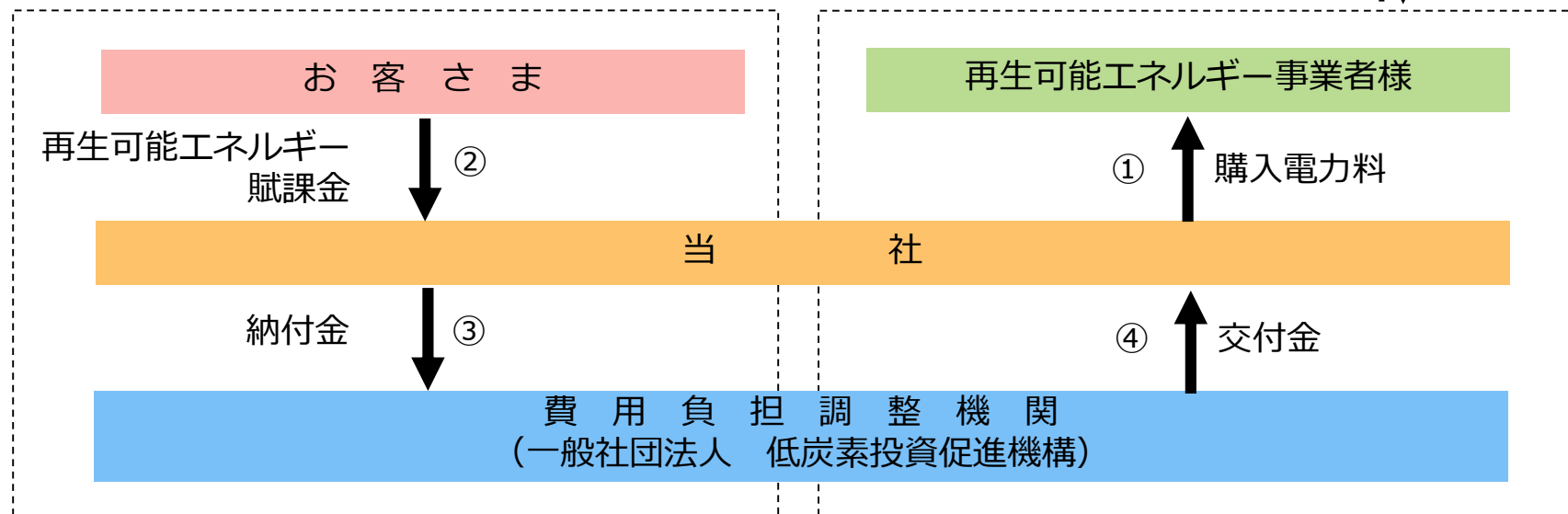
(単位：億円)

		総額 (見通し)	2011～2020年度2Q 実績	
				(再掲) 2020年度2Q
設備対応	短期対策	約 720	717	—
	中長期対策	約1,140 (+200)	783	61
解析・評価など		約 240	240	—
合 計		約2,100 (+200)	1,741	61

() は従前公表値からの増加

2020年度 第2四半期 実績

↑↓ 金銭の流れ



単位：億円

② 再生可能エネルギー賦課金	282
当社が、お客さまから電気料金の一部として回収	
③ 納付金	282
費用負担調整機関は、当社から納付金を徴収	

① 購入電力料	750
当社は、再生可能エネルギー事業者様に購入電力料をお支払い	
④ 交付金	628
費用負担調整機関は、当社が買取に要した費用（電気価値分等を控除）を当社に交付	

おことわり

本プレゼンテーションに含まれている業績見通し、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要因により、記載されている見通し等とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済・社会情勢、エネルギー政策や電気事業制度、原子力規制の変更、競争の進展、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。



四国電力株式会社

しあわせのチカラになりたい。